



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月4日

上場取引所 東

上場会社名 ネットン(高周波熱錬株式会社)

コード番号 5976 URL <http://www.k-neturen.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 福原 哲一

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部経理部長

(氏名) 青井 隆明

TEL 03-3443-5441

四半期報告書提出予定日 平成25年2月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	32,953	0.8	2,858	△8.1	3,193	△6.0	1,673	17.0
24年3月期第3四半期	32,684	20.2	3,110	63.2	3,395	53.1	1,430	△8.5

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 1,951百万円 (56.3%) 24年3月期第3四半期 1,248百万円 (25.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	39.25	—
24年3月期第3四半期	33.55	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	67,315	53,039	73.7
24年3月期	66,785	51,311	72.4

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 49,640百万円 24年3月期 48,369百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	6.00	—	8.00	14.00
25年3月期	—	5.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	45,000	0.8	3,800	△9.7	4,200	△6.0	1,600	△32.3	37.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期3Q	44,713,930 株	24年3月期	44,713,930 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

25年3月期3Q	2,090,796 株	24年3月期	2,090,529 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期3Q	42,623,286 株	24年3月期3Q	42,640,657 株
----------	--------------	----------	--------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当資料に記載の将来に関する予測数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により開示した予測数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) セグメント情報等	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、電気料金の値上げや円高の長期化などの景気下振れリスクを抱え不安定な状況で推移しました。また、世界経済は、ユーロ不信や中国経済の成長鈍化などの影響もあり、停滞感を強めております。

このような状況のもと、当社グループは、第12次中期経営計画「Global Challenge 30」に掲げた、成長戦略の遂行と基盤づくり、グローバル事業の展開、人財の確保と育成等の経営課題に取り組む、経営体質の強化、企業価値のさらなる向上を図ってまいりました。

しかし、主として建設機械、工作機械業界からの受注の減少が、当社グループの業績に影響を与えました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は32,953百万円（前年同期比0.8%増）、営業利益は2,858百万円（前年同期比8.1%減）、経常利益は3,193百万円（前年同期比6.0%減）、四半期純利益は1,673百万円（前年同期比17.0%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①製品事業部関連事業

当社主力製品である建設関連製品の販売量は、前年同期と比較し増加いたしました。これは主として、高強度せん断補強筋の販売が引き続き好調に推移したことなどによります。また、自動車・二輪車用サスペンションばね等に使用される高強度ばね鋼線（ITW）の販売量も、前年同期と比較し増加いたしました。これは、主として米国での販売量が増加したことなどによります。

この結果、売上高は17,198百万円（前年同期比5.3%増）、営業利益は1,688百万円（前年同期比10.9%増）となりました。

②IH事業部関連事業

自動車部品関連の売上高は、前年同期を若干上回ったものの、熱処理受託加工関連、建設機械部品関連の売上高は、主として建設機械、工作機械業界からの受注減少により、前年同期と比較し減少いたしました。一方、誘導加熱装置関連の売上高は、受注環境が比較的堅調に推移しており、前年同期と比較し増加いたしました。

この結果、売上高は15,689百万円（前年同期比3.4%減）、営業利益は1,177百万円（前年同期比23.8%減）となりました。

③その他

当該セグメントは、報告セグメントに含まれない不動産賃貸事業等であります。

当社が「オーバルコート大崎マークウエスト」に所有する賃貸用オフィスのフロアの一部に未契約期間があったことなどから、賃貸収入は減少しました。

この結果、売上高は65百万円（前年同期比47.5%減）、営業損失は6百万円（前年同期は43百万円の利益）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は67,315百万円（前連結会計年度末比0.8%増）となりました。この主な要因は、受取手形及び売掛金が減少しましたが、主として海外子会社のたな卸資産や有形固定資産が増加したことなどによります。

当第3四半期連結会計期間末における負債は14,276百万円（前連結会計年度末比7.7%減）となりました。この主な要因は、借入金や未払法人税等が減少したことなどによります。

当第3四半期連結会計期間末における純資産は53,039百万円（前連結会計年度末比3.4%増）となりました。この主な要因は、利益剰余金や少数株主持分が増加したことなどによります。

この結果、当第3四半期連結会計期間末における自己資本比率は73.7%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成 25 年 3 月期の業績予想につきましては、平成 24 年 11 月 5 日公表時点から修正は行っておりません。第 2 四半期連結累計期間において計上いたしました投資有価証券評価損（特別損失）の一部を当第 3 四半期会計期間において戻し入れた事実がありますが、これは暫定的な損失であると認識しており、今後の株式市場の推移をある程度確認する必要があると判断したためであります。

なお、予想数値は現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により開示した予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第 3 四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益又は損失に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(減価償却方法の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、第 1 四半期連結会計期間より、平成24年 4 月 1 日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第 3 四半期連結累計期間の損益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,028	9,976
受取手形及び売掛金	16,427	14,767
有価証券	—	200
商品及び製品	682	797
仕掛品	1,315	1,865
原材料及び貯蔵品	1,634	1,870
その他	891	1,779
貸倒引当金	△68	△66
流動資産合計	31,912	31,189
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,814	7,690
機械装置及び運搬具（純額）	7,045	8,315
土地	9,457	9,457
建設仮勘定	2,180	531
その他（純額）	187	275
有形固定資産合計	25,685	26,270
無形固定資産		
のれん	86	50
その他	211	506
無形固定資産合計	298	557
投資その他の資産		
投資有価証券	8,570	8,878
長期貸付金	84	67
その他	471	439
貸倒引当金	△237	△86
投資その他の資産合計	8,888	9,298
固定資産合計	34,872	36,125
資産合計	66,785	67,315

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,884	5,803
短期借入金	2,400	2,154
未払法人税等	725	216
賞与引当金	640	368
その他	4,408	4,479
流動負債合計	14,059	13,022
固定負債		
長期借入金	166	30
引当金	283	315
その他	964	907
固定負債合計	1,414	1,253
負債合計	15,473	14,276
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,418	6,418
資本剰余金	5,528	5,528
利益剰余金	40,500	41,620
自己株式	△1,668	△1,668
株主資本合計	50,779	51,898
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△214	△118
為替換算調整勘定	△2,194	△2,138
その他の包括利益累計額合計	△2,409	△2,257
少数株主持分	2,942	3,398
純資産合計	51,311	53,039
負債純資産合計	66,785	67,315

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	32,684	32,953
売上原価	24,983	25,229
売上総利益	7,700	7,723
販売費及び一般管理費	4,589	4,864
営業利益	3,110	2,858
営業外収益		
受取利息	17	11
受取配当金	92	85
持分法による投資利益	190	188
その他	155	149
営業外収益合計	455	435
営業外費用		
支払利息	51	51
為替差損	69	27
その他	49	21
営業外費用合計	170	100
経常利益	3,395	3,193
特別利益		
有形固定資産売却益	1	0
投資有価証券売却益	8	0
受取保険金	—	5
特別利益合計	9	6
特別損失		
有形固定資産売却損	0	0
有形固定資産除却損	9	16
投資有価証券評価損	926	285
災害による損失	16	—
損害賠償金	—	99
その他	0	34
特別損失合計	953	435
税金等調整前四半期純利益	2,452	2,764
法人税等	834	954
少数株主損益調整前四半期純利益	1,617	1,809
少数株主利益	186	136
四半期純利益	1,430	1,673
少数株主利益	186	136
少数株主損益調整前四半期純利益	1,617	1,809
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	121	98
為替換算調整勘定	△236	△13
持分法適用会社に対する持分相当額	△253	56
その他の包括利益合計	△368	141
四半期包括利益	1,248	1,951
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,114	1,825
少数株主に係る四半期包括利益	134	125

(3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	製品事業部関連 事業	I H事業部関連 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	16,325	16,235	32,560	124	32,684
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	16	16	—	16
計	16,325	16,251	32,577	124	32,701
セグメント利益	1,521	1,545	3,067	43	3,110

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等であります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	3,067
「その他」の区分の利益	43
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	3,110

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

記載すべき事項はありません。

当第3四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	製品事業部関連 事業	I H事業部関連 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	17,198	15,689	32,888	65	32,953
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	72	72	—	72
計	17,198	15,762	32,960	65	33,025
セグメント利益又は損失 (△)	1,688	1,177	2,865	△6	2,858

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等であります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益又は損失 (△)	金 額
報告セグメント計	2,865
「その他」の区分の損失 (△)	△6
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	2,858

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

記載すべき事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。